



としょだより

2023年 冬号



2023年 職員対象

図書利用アンケート 結果発表大特集

11月下旬より実施いたしました「図書利用アンケート」へのご協力、まことにありがとうございました。今回のとしょだよりでは、結果の集計ならびに寄せられたご意見に対して図書係よりお返事をさせていただきます。ご意見・結果を図書室運営に少しでも役立てる事が出来たらなと考えております！

1. 回答者の職種を教えてください。

詳細

- | | |
|---|-----|
| ● 医師 | 15 |
| ● 看護師 | 139 |
| ● コメディカル | 14 |
| ● 事務職員・その他 | 21 |



皆様お忙しい中、回答ありがとうございました。
webアンケートは答えにくかったのか、前回より回答数は大幅に減少しました。

3. 図書室を利用したことが無い理由を教えてください。

詳細

- | | |
|--|----|
| ● 図書室に行く時間が取れない | 35 |
| ● 自分にとって必要と思われる資料がない | 10 |
| ● 興味が無い | 13 |
| ● その他 | 3 |



2. 図書室の利用頻度についてお答えください。

詳細

- | | |
|--|-----|
| ● 週に1度前後 | 6 |
| ● 月に1度程度 | 8 |
| ● 研究・研鑽の必要がある時に利用 | 119 |
| ● 利用したことが無い | 56 |

必要性のある時に足を運ぶスタッフが多いですね。
そんな時にお役に立てますよう、しっかり準備して待ち構えております。お気軽に声をかけてください！

普段忙しく、喫緊の用事もないのに図書室に行こう！とはなかなかならないかなと思います。
ですので、いつか「調べものせなあかんねん」とか「ちょっと時間調整したい」という時にふらっと立ち寄ってもらえたらいいかなと思います。専門書以外にも、気楽に眺めていくような本なども少しだけ置いてあります。

必要としてもらえる蔵書がないという方は、おそらく自身で情報収集が出来る方だと思います。多職種をカバーする選書に努めていますが、それでもカバーしきれないジャンルがあるのは申し訳ありません。

としょだよりなども含め、また興味を持っていただけるように頑張っていこうと思います！

4. 普段、業務上必要な知識はどのような方法で入手しますか。

詳細

- | | |
|--|-----|
| ● 図書室所蔵資料（購入している蔵...） | 52 |
| ● インターネット、SNS | 161 |
| ● 個人所有の雑誌、電子ジャーナル、... | 73 |
| ● その他 | 7 |



今はインターネットでいろいろな情報が入手できる時代、冊子体の需要は少なくなってきたいるのかかもしれません。

図書室でも毎年数多くの雑誌や電子ジャーナルを購入していますので、併せて利用してみるとまた違った方面からのアプローチに役立つかかもしれません。

個人所有の資料は教科書などのようなものでしょうか、いずれにせよ「手元の資料でカバーしきれないな」なんて時は図書室をのぞいてみるのもいいかもしれません。院内からの電子ジャーナルの使い方なども、これからお伝えしていけたらと考えています。



5. 次のうち、図書室で出来ることで知っていることを選択してください（複数回答可）

[詳細](#)

- 本の貸し出し・閲覧 181
- 共用パソコンの利用（文献の検索… 125
- 病院に無い文献複写物の取り寄せ… 97
- 図書係に文献の検索を依頼する事… 67

「としょだより」、「新刊案内」を作成している者としては若干寂しい結果となりました(笑)

新刊案内は印刷したものを毎月初旬に配布し、同時に電子カルテ内にも掲載されています。またとしょだよりも発行時は各部署メールボックスに配布しておりますし、病院HP内の電子図書館にリンクも張ってあります。わずかですが、図書室の貸出票付近にも持ち帰れるように置いてあります。

少しでも良い情報、気楽に読んでもらえる内容を心がけています。
お昼休みにお弁当食べながら、休憩中に熱いお茶でも飲みながら一度目を通していただけますうれしいです。

さすがに「図書室は本を借りる事が出来る場所」と認識いただいているようで安心しました。文献複写依頼に関しては、以前は個人負担だったものを図書費用で賄うようになり、それならばと利用された方もいるのではないかでしょうか。

また、図書室には共用のPCが1台ございますので、空いているときは遠慮なく使っていただければと思います。所蔵資料を探す時に医中誌を使う方法もございますので、気になった方はお声がけくださいね。

また図書係在室時は各種お手伝いも致します。とりあえず何でも聞いてやってください！



6. 「新刊案内（月1回）」「としょだより（不定期）」について読んだ事はありますか？

- 両方読んでいる 31
- 新刊案内は見たことがある 35
- としょだよりは見たことがある 51
- 両方とも見たことがない、知らない 72

お答えします！

皆様からのご意見

声① 「使い方がよくわからない」

答①→図書室の貸し出しの手順でしょうか、または開室時間に関してでしょうか。図書係在室時に聞いていただければ、精一杯お答えします（内線6450）

声② 「新刊の雑誌などを病棟ですぐに見られるように、病棟で管理できるようにして欲しい」

答②→なかなか勤務中に図書室に足を運べない状況はお察しいいたします。しかしながら、図書室の雑誌は病院の財産であり、また病院スタッフ誰でも閲覧できるようにすることが好ましいと考えます。当該科のスタッフ以外の利用も想定しておりますし、また各部署保管にする事は書籍管理上紛失や破損などの恐れもございます（丁寧に扱っていただけるとは考えています）貸出期限を過ぎた入庫1か月以降に各部署スタッフにより貸し出しをし、供覧できる場所（休憩室など）で回し読みでもらえればと思います。その場合持ち帰ってしまうと又貸しとなりますので、あくまで院内で所在が明らかな状態で貸し出し閲覧していただきたいと思います。ご協力お願ひいたします。

声③ 「リラックス出来る椅子にして欲しい」

答③→図書業務赴任以来、多くの声をいただいて参りました「椅子問題」。明らかにがたつく物もあり、都度管財課さんにお願いして調整して騙し騙し頑張っていましたが…先日、院内で使用されていなかった椅子を図書室にて使わせてもらえることになりました（祝）
これにより、安定した体制での図書閲覧・自己研鑽が出来るようになりました…しかし、長時間の座位はどんな椅子でもしんどいです。適宜ストレッチなどで身体にご負担のないようお願いいたします。どこかで見た椅子だな…と思ったら、元透析センター待合の椅子でした！

声④ 「すごく助かっています。ありがとうございます。」

答④→こちらこそありがとうございます！ そう言っていただけるのが一番（そして唯一といつてもいいほど）仕事のモチベーションとなります。普段図書室でホツンとひとり仕事をしていますので、何かしら反応があると必要以上に反応してしまいます。もちろんまだまだ不満であったり、要望であったり、改善すべきことは山のようにあると思います。よりダイレクトに、皆さんのお意見などもお伺いしながら「なんかええな、図書室」と感じてもらえるように今後も頑張って参ります。テンション上げていきます！

声⑤ 「文献を負担なく頼めるのは良いですね。今後ともよろしくお願ひします。」

答⑤→ありがとうございます！ 文献複写、以前はスタッフ個人負担だったのです。でも「お金がかかるかもしれません（無料で入手できるパターンもある）となると「お金かかるならいいです…」と諦めてしまう方も少なくありませんでした。また、支払いに関しても都度図書室まで現金を持参していた大変必要があり、図書室で現金を扱う事の問題性もあったので、病院側の理解を得て「文献複写にかかる費用は図書費用（病院経費）としていただけるようになりました。その分は先生方に「利用の少ない電子ジャーナルの購読を中止して、必要なものは複写取り寄せで対応する」という事で協力いただきました。「知りたい、学びたい」という気持ちに添えるように、有料の文献だけでなく、無料にて入手できる類似文献などもお手伝いして一緒に手配いたしますので、今後とも図書室を有用にお使いいただければと思います。

まだまだつづく



声⑥「貸し出し期間を、もっと長くして欲しいです。」

答⑥→現在、図書の貸し出しが2週間を限度として運用しています。理由としては①次に貸し出したい人がいた場合の一応の区切り（貸し出し予約がない場合は、貸出しの延長を図書室への電話で承ります。）②紛失防止のため…長期貸し出しによる所在の不明化がないように考えています。2週間という期間は、仕事などしているとあつという間です。短く感じる気持ちも理解できます。ただ、管理上2週間という期間を設定している事をご理解ください。ちなみに貸出しの冊数には上限を設けておりません。読み切れる範囲で借りていただければと思います！

声⑦「眼科の雑誌は眼科医以外読まないと思うので可能であれば眼科の医局に送って欲しいです。」

答⑦→基本的には病院図書室として購入した書籍（定期購読雑誌）は図書室での保管となります。眼科に関しては一時期図書購入の雑誌を医局にて保管されておりましたが、先日一部返却がありました。今後の運用に関してはまたご相談いただければと思いますが、眼科雑誌に関してでも他科スタッフが閲覧できる状態である方が望ましいと考えますし、図書業務としても他施設からの複写依頼を受ける事がございますので、原則図書室保管が望ましいと考えます。なお、購読中3誌のうち「あたらしい眼科」誌はメディカルオンラインでのバックナンバー閲覧も可能です（収録に多少のタイムラグはあります）

声⑧「いろいろ、文献の時にはお世話になって助かっています。研究に必要な本を購入してもらえると有難い。県立まで借りに行ったりしていたので。」

答⑧→こちらこそ、いつもご利用いただきありがとうございます。書籍の購入ですが、現在の図書費用ですとなかなかすべての購入希望に対応するのは難しい状況です。また内規的な取り決めとして「個人のスキルアップ・資格取得のための書籍を図書費用で購入しない」とされております。しかしながら部署単位で全員（に近い人）が業務のために必要な冊子ですと（予算残高にもよりますが）購入希望が通る場合も十分考えられます。この場合、確実に予算の確保していただくには、毎年11月ごろに部署単位で予算申請をしていただく必要があります。この申請が認可されたものは、次年度の予算として確保されますので、購入してもらうことが可能となります。医科に関しては治験費からの支出となる事が多いですので、各医科部長のご相談ください。現在、書籍の現物貸借には対応しておりませんので、複写などで情報収集が図書での業務となります。ご理解をお願いします。

声⑨「人が常にいるわけではないためいて欲しいです。」

答⑨→大変ご不便をおかけいたします。メインで図書業務にあたっている者（伊勢）が月水金の午後病院で透析治療を受けております。ですので不在の時間が多く、せっかく図書室に来たのに係員がいないじゃないか！と思われる方が多いことは想像に難くありません。隣の病歴室にいる朝倉さんに声をかけていただいても対応は可能ですし、不在時に依頼をしやすいように年明けぐらいから依頼（質問なども）用の用紙と回収ボックスを設置したいと考えております。こちらに残していただいた要件を在室時に順に対応し、希望の連絡方法（電メール、内線など）で返答をさせていただきます。検索などを実際に一緒にやってみてもらいたい、直接聞きたい事がある、などのスタッフは前もってアポを取っていただければ出来る限り時間を合わせて対応いたします。不在時間が長いぶん、いる時に頑張りたいと思っております。

声⑩「本を借りに行く時間が時間内になかなかとれないで、依頼したら搬送で回して欲しい。

本を返しに行く時間も同じなので、搬送でも返却させてもらえると嬉しいです。

答⑩→せっかく本を読もうと思っても、借りに来る時間がなかなかないのは残念に思います。忙しいですもんね。新刊案内などで雑誌の特集などを見て「お、読んでみたいな」と思われたりしたのでしょうか。新刊案内は貸し出しが出来る状態の物を毎月初旬にお知らせしています。ですので、お知らせした時点で貸し出しを希望されれば搬送…のシステムを図書は利用していないので、件数が少なければ僕がメールボックスなどにお届けする事が出来るかもしれません。今後課内で協議し、来室なしでの貸し出しが可能かどうかを検討したいと思います。件数が多かったり、所在管理が難しい場合は実現に至らないかもしれません。一つのご意見として参考とさせていただきます（本当は来室して実書籍を手に取っていただけます）。搬送での返却に関しては現時点で「病歴・図書室宛」での返却が可能で、そうされる方もおられます。

声⑪「平日8時半から17時までは利用しにくい。」

答⑪→こちらに関してはよく耳にするご意見です。結論から申し上げますと「図書室は365日24時間利用が可能」です。ただ、書籍が病院の財産である以上、無施錠で管理することはできません（もちろん本を勝手に持っていく人はいないと信じています）。現在8時過ぎ～18時前位は病歴室にスタッフがおりますので、その際は図書室も開放されています。ではそれ以外の時間には…という場合は、防災センターにて鍵を借用していただけての利用となります。手間にはなりますが、そのような形で土日などでも図書室を利用される人はおられるようです。

係員不在でも共用PCの利用、書籍の貸し出しが可能です。また要件がございましたら、声⑨にてお答えしたように依頼用紙への記入に従い在室時に順次対応させていただきます。ご利用をお待ちしております！

声⑫「活発な取り組みをされていると感心しています。」

答⑫→お褒めの言葉をいただき、本当にありがとうございます。僕は図書司書の資格を有しているわけでもなく、4年ほど前に急に図書の仕事をすることになりました。専門知識にも乏しく、じゃあ一体何か僕に役立てる事があるのだろうか…と考えた一つの自分なりの答えが「なんでもやってみよう、図書室を楽しい場所にしよう」というものでした。見る人が見れば「あいつは何をやっているんだ」なのかもしれません、こうしてアンケートでポジティブな意見をもらえるとそれもありなのかなど楽しく仕事させていただいている。

繰り返しますが図書係としてはいつまでも未熟ですので、利用者から遠慮なく意見や要望をいただけたらなと思っています。来室者にも、困っている方には積極的に声をかけていこう…と思いつつも、あれ？ほつといてほしいのかな？突然おっさんに声かけられたら怖がるかな？などと逡巡しながら様子をうかがっている事もあります。いい感じでサポートに入れるようになりたいですね、来年の目標にします(笑)

声⑬「図書室に飴やお菓子など癒しのものが置かれて、落ち着いた環境、親切な職員の対応にいつも癒されています。

ありがとうございます。今後も活用していきたいです。」

答⑬→いつもご利用ありがとうございます！飴ちゃんはなんとなく置いておいたら仕事の疲れに当分補給…気分一新リフレッシュ出来るかなと思って置きました。ただ、僕のだけなしのお小遣いから（最近は差し入れしてくれる人もいます）捻出している物ですので、無くても怒らないでくださいね。また癒しといえばカウンターに猫の写真のアルバムを置いてあります。僕は知っているんです…猫は神である…というわけで、皆様のおうちのペット（猫に限らず）の写真があればぜひアルバムに加えさせてください。業務の間の癒し、あると思います！

また対応に関しましても、なんなりと申し付けていただければ出来る限りのことはさせていただきます。

いつ誰が来ても落ち着く、楽しい、ほっとする…そんな図書室にできたらいいなと夢見ながら頑張ります。



声⑭ 「図書室のレベルが医療の質を規定します。雑誌購入(国内商業誌)について柔軟な対応をお願いします。」

答⑭→ご意見ありがとうございます。病院図書室では大学施設などと比較しても予算の限られた中で、しかもバランスよく蔵書を選定する必要があります。出来る限り皆さんの希望に添えるようにできればいいのですが、どうしても診療科や看護ジャンルにおいて複数の雑誌を定期購読していく事は難しいと考えます。図書の選定(変更)基準ですが、毎年利用統計に基づき、あまりに利用が少ないものに関しては入れ替えを提案しております。個々の希望ではなく、科・部署にて意見を取りまとめ、その上で秋頃までに入れ替えの提案をしていただければと思います。繰り返しになりますが、予算の関係上すべての購入希望にお応えできるものではありません。電子ジャーナルも含め、何かを購入中止した上の導入が基本とお考え下さい。

声⑮ 「日勤の仕事終わりの時間には利用ができない為、なかなか利用する機会がないので、利用時間を考慮していただけると助かります。

また、雰囲気や本の展示の仕方が、魅力的ではないので、お金がかかることなので難しいと思いますが、変えていくと身近な場所になりやすいかもしれません。

答⑯→ご意見ありがとうございます。図書室に関しましては、無施錠での開室時間は平日8-17時ですが、前述の質問でもお応えしている通り防災センターにて鍵を借りていただくことでいつでも利用は出来ます。蔵書は病院費用で購入している物ですので、長時間係員が不在となる(であろう)時間を無施錠で運用するのは望ましくないと考えます。17時以降の利用の際はあらかじめ内線6450(不在時は隣の病歴室に転送されます)に確認の上、不在であれば防災センターで先に鍵を借りていただくと二度足にならずに済むと思います。蔵書の展示に関して、また図書室の雰囲気改善に関して、良いアイデアがございましたらどうぞお聞かせください。蔵書スペースや什器に制限もあり、お金をかけた改善はしてもらえないと思いますが、工夫でよくなるがあれば取り入れていきたいですし、利用者の意見を図書としてももっと聞かせていただければと思います。

声⑰ 「いつも飴とか置いてくれて、業務の合間の休憩になっています。ありがとうございます。」

答⑰→どういたしまして！別に飴ちゃんで利用者を釣ろうとしているわけではありませんが(笑)普段患者さんのおられる中で緊張感をもって仕事をされている皆様ですから、図書室に来た時くらい少しリラックスしてもらえたなら…と考えて置いてあります。表で頑張っている皆様に、裏方からの労いみたいなものです。なお、これらのお菓子はなけなしの僕のお小遣いから捻出されている物ですので、無い時は勘弁してくださいね！

声⑱ 「「としょだより」は楽しく書かれており、図書室を身近に感じることが出来る。アンケート結果も楽しみです。」

答⑲→いつもとしょだよりをご覧いただき、本当にありがとうございます。利用促進に向け、興味を持ってもらえるように…と思い作り始めましたので、そのように言っていただいて嬉しく思います。皆さん忙しい中で図書室を利用しよう！と考えていただくことは簡単ではないと思いますが、何かの折に調べ物をする必要があった時、研究をすることになった時の資料収集のベースとして図書室があることを思い出してもらえたたらと考えております。アンケートに関しても、今回web回答メインでしたので前回実施時より回答率は格段に低い結果となりました。それでもいただいたコメントにはすべてこうして自分の考え(自分の考えですので、必ずしもオフィシャルな回答ではないかも知れません)を答えさせていただきました。

100の意見があれば100の自分の考えを伝える、そういうスタンスでこれからも図書の仕事をしていこうと思います。

声⑲ 「いつもありがとうございます。図書だより、楽しく見させていただいている。論文作成などで活躍している職員(医師)がいたら、図書だよりで取り上げてほしいです。または論文コーナーなど院内職員が頑張っている姿がわかるようなコーナーを設置していただきたいです(可能な範囲で)

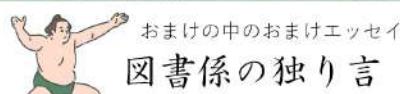
答⑲→こちらこそ、いつもありがとうございます。院内のスタッフさんの中には研究論文や寄稿などの執筆をされ、雑誌に掲載されている物もたくさんあるのではと思います。ただ、図書としては「誰がどんな論文をどの雑誌にいつ掲載された」という情報は一切入ってきません。情報をお寄せいただければ、もちろんとしょだよりにて紹介させていただくことは可能です。おそらく病院年報には業績集として論文掲載の一覧などがまとめられているのではと思いますが、よりタイムリーにお伝えする要望があれば、図書としてもお手伝いしたいと思います。実際どうなんでしょうか、お知らせしてほしい方とそうでもない方とおられるような気がしますし、情報を一括で管理するのも難しいのであくまで個別対応になるかなと思います。



以上、皆様から頂いたご意見ご感想に僕なりの回答となりますがお答えさせていただきました。へたくそな文章で読みづらい点も多々ございましたでしょうが、少しでも伝わるものがあればいいなと思っています。また次回このようなアンケートを実施した時には、より多くのご意見やご提案、満足を感じているという回答をいただければと思います。

不満も至らぬ点も多々あるかと思いますが、それらも伝えてもらってこそです。

僕は図書の仕事を楽しんでやっています。皆さんにも図書の楽しさが伝わればいいなと思います。ご協力ありがとうございます！



おまけの中のおまけエッセイ
第??回

「期待外れの言葉を言う時に」

今年も「としょだより」をよろしくお願いいたします。さんざんアンケート回答で長文を書き連ねておいて、まだ駄文を上乗せしてくるのが…といった感じではございますが、お時間のある時にさらっと読み流していただければ嬉しいです。

さて、今年は元旦から大きな地震があり、被害にあわれた方にはお見舞いを申し上げ、また当院からも被災地支援に向かわれる方には心から感謝をしたいと思います。僕はその時、病院で透析中でしたが、周りのスタッフのおかげで取り乱すこともなく、家族の無事も間もなく確認出来ました。ベッドの上の震度5弱って、結構怖いものでした。

困ったのはその後のネット上(SNS)での「誤情報の錯綜」「意見の違いから起こる(匿名での)罵り合い、誹謗中傷の数々を目にしてしたこと」でした。安全な場所から、被災地の人に関係なく、顔を隠してお互いを攻撃する…そんなことやってる場合じゃないのに、と。自分の感情まで巻き込まれてしましました。

残念な事にその醜い争いは今もまだ続いている。同じ日本人どうしが分断されていくのを黙って眺めているだけの自分がいます。自分に出来る事は何もないかもしれませんのですけど、それでも日々接する誰かに対してはせめて「人にやさしく」出来たらいいなと考えています。その積み重ねでみんな仲良くできたらいいですね。



おしらせ

- ・2023年入庫の雑誌類を順次書庫に移動しております。不明な点はお聞きください。
- ・利用の少ない「臨床麻酔」誌を、「LiSA」に変更いたしました。
- ・「Clinical Neuroscience」誌が休刊となつたため、「BRAIN and NERVE」誌に変更いたします(入荷まで少々お待ちください)
- ・その他定期購読雑誌は冊子体・電子体ともに変更ございません。



ワシの心は動物でしか癒されんのじゃ…

